



「北海道内7空港の一体的運営に関するパートナーシップ協定」の調印式

第63回(令和元年度)北海道開発技術研究発表会 受賞論文(港湾部門)の概要について

北海道開発局 港湾空港部 港湾建設課

第63回(令和元年度)北海道開発技術研究発表会は、令和2年2月18日から3日間にわたり北海道開発局職員研修センターにて開催されました。指定課題2課題・自由課題6カテゴリー175論文・口頭による発表を主軸としたフリーセッション11課題の発表が行われ、うち22件が港湾・空港・漁港部門の発表が行われました。

これらの論文の中から、創造性、将来の発展性、テーマ性、研究努力及びプレゼンテーションなどの観点から北海道開発局長賞及び奨励賞、寒地土木研究所長賞、フリーセッション特別賞、北海道開発協会会長賞及び奨励賞が選出されました。そのうち、港湾部門(港湾・漁港・空港事業関連)からは各賞あわせて6件が受賞されましたので、研究課題と発表者(所属は発表当時)をご紹介します。

北海道開発局長賞 受賞論文

研究課題 環境(環-12)

函館港に若松地区泊地浚渫工事におけるカルシア改質土の施工について

発表者

函館開発建設部函館港湾事務所	佐々木実歩
同上	櫻井 博孝
東洋建設株式会社	山崎 啓介

概要

函館港では、大型クルーズ船を受け入れるため、若

松地区において岸壁(水深10m)とともに泊地(水深10m)の整備を行っている。泊地整備における、浚渫土は経済性、合理性を考慮しカルシア改質材を用いて浚渫土砂を改良(カルシア改質土)し、西防波堤の老朽化に対する背後盛石の補強と港内の窪地埋戻しに活用することとした。

本論では、函館港若松地区で実施中の泊地浚渫工事におけるカルシア改質土の施工に関する課題と対応について報告するものである。

寒地土木研究所長賞 受賞論文

研究課題 推進(推-11)

北海道南西部におけるアサリ養殖試験

一北海道日本海沿岸の漁港構造物を利用したアサリ垂下養殖の技術開発に向けて一

発表者

(国研)寒地土木研究所水産土木チーム	丸山 修治
同上	梶原瑠美子
同上	石井 馨

概要

北海道日本海沿岸の漁港構造物を利用したアサリの垂下養殖技術の開発を目標に、江良漁港(松前町)の港内蓄養施設において、稚貝(8mm)を丸籠(直径40cm、高さ10cm)に100個体収容し、陸上部の手摺りから水深D.L.-2.0mに吊す手法で、出荷サイズに早く成長させるべく、丸籠の固定や丸籠に配置する基質材な

どの垂下条件に着目した垂下養殖試験を実施した。

同時に、微小サイズの稚貝(1mm以下)を筒状の装置(直径20cm)に収容し、干満帯に設置する手法で、丸籠に移行できる大きさに成長させることを目的とした中間育成試験も実施した。

北海道開発協会長賞 受賞論文

研究課題 産業(産-8)

港湾・空港・漁港部門における建設業の働き方改革の取り組み

発表者

港湾空港部港湾建設課 森 昌也
同上 堀田 雅洋

概要

建設業においては、大量退職者の発生等による技術者の減少や高齢化が見込まれており、将来にわたるインフラの品質確保や災害対応等のためには、人材の確保が重要な課題となっている。また、平成31年4月に働き方改革関連法が施行されたことにより、時間外労働の上限規制等への対応も急務となっている。本報告では、働き方改革のための各種試行工事において実施したアンケート結果等から、現状と今後の課題について整理するものである。

北海道開発局長奨励賞 受賞論文

研究課題 推進(推-9)

漁港漁場整備事業における新たな便益計測手法の提案—AI画像認識技術等によるアプローチ—

発表者

農業水産部 水産課 菅原 吉浩
同上 石山 祐司
株式会社 建設技術研究所 牛木 賢司

北海道開発協会長奨励賞 受賞論文

研究課題 地域(地-9)

北海道産品の輸出促進に向けた検討—海上小口混載コンテナによる輸出と海外でのテスト販売—

発表者

港湾空港部 港湾計画課 那須 達哉
同上 工藤 博文

研究課題 環境(環-13)

仙法志漁港における防風柵の計画と施工について

発表者

稚内開発建設部 稚内港湾事務所 秋田谷 肇
同上 大黒 俊一



表彰式(函館開発建設部)